

取組の名称 児童会主体の「仲よくなろうプロジェクト」の取組

6月～7月 休み時間

取組の概要 場所：音更小学校保健室前掲示板

【ねらい】

児童会活動において「全校で誰とでも仲良くなろう」をテーマとした活動に主体的に取り組むことによりいじめを絶対に許さない態度の育成を図る。

【概要】

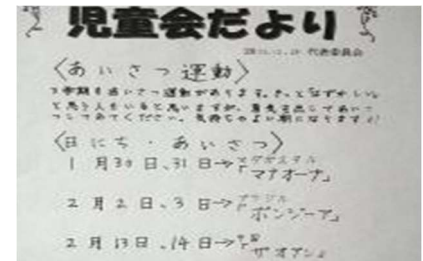
児童会代表委員会を中心に、休み時間を利用し、「お絵かきリレー」、「世界の言葉で挨拶しよう」など、学年の垣根を越えた遊び集会を企画し、全校児童が参加し楽しむ取組を継続して行った。

【児童の感想】

異学年の人と友達になれて、学校が楽しくなった。仲よしの人を増やしたい。



【全校放送で呼びかける様子】



【児童会便りでの呼びかけ】

成 果

コロナ禍で集会活動には制約があるが、児童主体のいじめの抑止につながる取組を通し、休み時間に異学年で遊ぶ様子が多く見られるなど、他者と協働することや互いに認め合うことの重要性について、実感の伴う理解を深めることができた。

取組の名称 「どさんこ☆子ども十勝地区会議」を受けた学校目標の作成

12月7日（水）全校朝会

取組の概要 場所：下音更小学校各教室（オンライン）

【ねらい】

「どさんこ☆子ども十勝地区会議」の協議のまとめを受け、児童に伝わりやすい学校目標を設定するとともに、全校児童がいじめについて考えることを通して、いじめを絶対に許さない態度を育成する。

【概要】

児童会三役が中心となり、「どさんこ☆子ども十勝地区会議」の協議のまとめを基に、低学年にも分かりやすい言葉で伝わるように、下音更小学校の実態に合わせた行動目標を設定し、全校朝会で発表した。

〈音更小学校のいじめ根絶に向けた行動目標〉

- ① みんなで仲良く遊ぼう ② 優しい言葉で話そう ③ 言葉遣いに気を付けよう

【児童の感想】

十勝のみんなで取り組んでいじめ根絶の取り組みをしていることを知り、自分たちの学校もいじめ根絶に向けて努力しようと思った。



【全校朝会で行動目標を発表】

成 果

児童会主体の取組を推進したことにより、「学習・生活の土台づくり」として、挨拶や正しい言葉遣いの定着を図り、学校が一体となったいじめ防止の気運を高めることにつながった。

取組の名称 児童会主体の「スマイルデー」の取組

通年

取組の概要 場所：駒場小学校

【ねらい】

児童全員が笑顔で交流できる活動を通して、児童同士の絆を深め、いじめを生まない風土の醸成を図る。

【概要】

児童会三役が中心となり、始業前の時間（こまこまタイム）を利用して、児童全員が仲よく、笑顔で1日をスタートできるような取組を実施した。

〈実施内容〉

- ・セタに願いを書こう～短冊と飾りを作って掲示し、児童の願いや思いを交流し合う。
- ・ばくだんゲーム、すみオニ～密にならずに交流できるゲームを各教室で実施。

【児童の感想】

どの学年も盛り上がり、楽しく取り組み、仲間という意識が高まったと思う。



【セタの掲示】



【児童会の話合いの様子】

成 果 朝から全校児童で交流することで、意欲的に学校生活を送る児童の姿や、休み時間に異学年で遊ぶ様子が多く見られ、いじめを生まない学校風土の醸成が図られた。

取組の名称 児童会主体の「いじめ防止集会」の取組

11月1日（火）

取組の概要 場所：下土幌小学校体育館

【ねらい】

いじめ防止集会において、児童がいじめに対して主体的に考えることを通して、いじめを生まない風土の醸成を図る。

【概要】

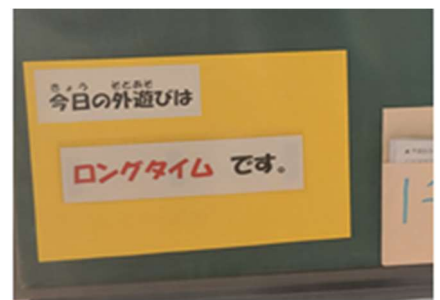
児童会三役が中心となり、全校集会でいじめを防止するための取組（①あいさつ運動、②全校遊び、③外遊び、④縦割り班活動）を実施した。②③は週3回、児童からリクエストを募集して実施した。

【児童の感想】

- ・あいさつしてくれる人が増えて、学校のみんなが明るくなった。
- ・低学年から高学年までみんなが楽しめる活動になった。



【いじめ防止全校集会の様子】



【全校遊びの予定を掲示】

成 果 学年・学級の枠を越えた取組を通し、お互いを思いやる心の醸成につながり、小さなもめ事などが減少している。また、全校遊びや外遊びは冬季の運動不足も解消し、ストレス緩和につながっている。

取組の名称 「みんななかよし運動」の取組

12月22日（木）3校時

取組の概要 場所：西中音更小学校体育館

【ねらい】

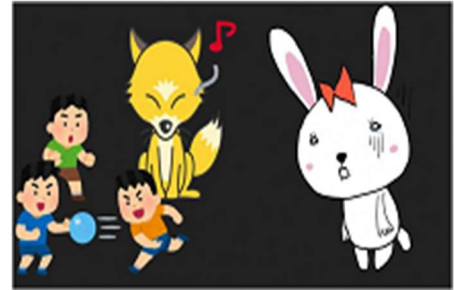
全校集会において、児童がいじめに対して主体的に考えることを通して、いじめを絶対に許さない態度の育成を図る。

【概要】

児童会三役が中心となり、全校児童でいじめについて考える集会「みんななかよし集会」を開催した。児童会が作成したいじめ問題の事例を扱った動画を視聴し、児童一人一人がいじめの具体について理解を深めた。その後、全校児童を縦割りの10グループに分け、事例についての考えや思い、今後気を付けたいこと等について話し合いを進め、最後にグループの意見を全体で共有した。

【児童の感想】

- ・理由があったとしても、仲間はずれにするのはいじめであるということが分かった。
- ・一人ぼっちになる人がいないように、みんなで声をかけ合いたい。



【事例を提示した動画】

成 果 実施後には、「友達が悲しい思いをしないように、みんなで気を付けたい」などの発言があり、いじめ根絶に対する意識の高まりが見られた。

取組の名称 「いじめ未然防止プログラム」を活用した取組

11月10日（木）3校時

取組の概要 場所：東土狩小学校

【ねらい】

「いじめ未然防止プログラム」を活用した取組を通して、相互理解・寛容の心を育むとともに、いじめ未然防止を図る。

【概要】

縦割り班でのボランティア活動や全校集会等、様々な活動で全校児童が協働して課題を解決する場を設定し、他者の意見を尊重し、思いやりをもって接する態度の育成を図った。また、取組の中で、いじめについて考える場を設定し、多面的・多角的に意見を交流した。

【児童の感想】

- ・高学年が優しく教えてくれたので、楽しい活動になった。
- ・いじめは何があってもしてはいけない。



【ボランティア活動の様子】



【全校集会の様子】

成 果 「いじめアンケート」の自由記述欄には「いじめは絶対にいけない」という趣旨の回答が数多く見られ、小規模校ならではの取組を通して、いじめを許さないという心情や他者を思いやり協力して生活しようとする心を育むことができた。

取組の名称 「いじめ撲滅サミット」の取組

取組の概要

12月6日(火)・13日(火)・16日(金) 5校時
 場所：東土幌小学校多目的ホール

【ねらい】

身近に起こり得る事例を基に、異学年でいじめについて考えるを通し、多様な考え方があることを認め、いじめについての自己の考えを深める。

【概要】

中学年以上の児童8名を対象に、いじめの定義、4層構造等の理解を深め、ピンクシャッターの取組等の紹介を行った。また、SNSでのトラブルも含めた3つの事例についてロールプレイングを行い、周りとの適切な関わり方や自分の気持ちの伝え方について考え、最後に児童一人一人が「いじめ撲滅宣言」を発表した。

【児童の感想】

いじめには、被害者と加害者だけでなく、それを取り巻く人がたくさんいて、周りの人の協力を得ることによっていじめを生まないことが分かった。一人ではなく、複数で手を差し伸べてあげることが大切である。

成 果

「いじめ撲滅宣言」では、「いじめは絶対にダメ」という内容の記述が多く見られ、いじめの具体やいじめを目にした際の行動についての理解が深まった。



【本時で使用した資料の一部】

取組の名称 「あいさつ運動」によるいじめのない風土づくりの取組

取組の概要

12月～1月 毎週金曜日
 場所：各教室前廊下

【ねらい】

児童会主体のあいさつ運動を通して、全校児童が元気で気持ちのいい挨拶をすることにより、人との関わりを大切にし、思いやりの心を育て、いじめのない学校風土の醸成を図る。

【概要】

児童会事務局が中心となり、生活委員会と連携し、12月から毎週金曜日の朝、各教室前で「あいさつ運動」を行い、相手を思いやる心情を育んだ。

【児童の感想】

最初は、挨拶を返してくれる人が低学年を中心に少なかったが、徐々に挨拶を返す人が増えてきたので、今後も継続して取り組んでいきたい。

成 果

児童会主体の取組で、学校全体の挨拶への意識が高まり、他者とのコミュニケーションを大切にする児童が増え、相手を思いやり、いじめのない風土づくりのための望ましい人間関係づくりの醸成が図られた。



【あいさつ運動ポスター】



【あいさつ運動の様子】

取組の名称 児童会によるいじめ防止の取組

1月16日(月)～3学期末

取組の概要

場所：柳町小学校内

【ねらい】

いじめ防止を呼びかけるポスターを作成し、児童がいじめに対して主体的に考えることを通して、いじめを絶対に許さない態度の育成を図る。

【概要】

児童会役員が自分たちで話し合いを進め、いじめ防止を呼び掛けるために、ポスターを作成し、校内の児童の目に付く場所に掲示した。

【児童の感想】

普段の生活の何気ない言葉や行動の中にも、相手を困らせたり、不安にさせたりする言動があることに気が付いた。相手を思いやり、仲間を大切にする学校であってほしい。



【ポスター作成の様子】



【ポスター掲示の様子】

成 果

児童からは、「これからも、いじめのない学校でありたい」などの発言が多く聞かれ、いじめ根絶に対する意識の高まりが見られた。

取組の名称 児童会の主体的ないじめ防止の取組

11月～12月

取組の概要

場所：緑陽台小学校玄関・体育館

【ねらい】

児童が主体的にいじめについて考えることを通して、いじめはどんな理由があっても許されないという意識の醸成を図る。

【概要】

① 「あいさつ運動」

児童会書記局が中心となり、毎日登校時間に玄関に立ち、全校児童に挨拶を行い、相手を思いやる心情を育んだ。

② 「全校ミニゲーム」

児童会書記局や各委員会が中心となり、異学年の交流を深めるため、全校ミニゲームを企画・運営し、コミュニケーションを大切にする心情を育んだ。

【児童の感想】

挨拶すると元気が出て嬉しくなった。全校ミニゲームはとても楽しく、みんなと仲よくなれた気がした。これからも仲よく生活し、いじめのない学校にしたい。



【「あいさつ運動」の様子】



【全校ミニゲームの様子】

成 果

挨拶ができる児童が多くなるとともに、全校ミニゲームを通じて、学年間の交流が深まり、全児童に「いじめはどんな理由があっても許されない」という意識を高めることができた。

取組の名称 児童会書記局による朝の校内放送の取組

12月19日(月)～1月27日(金)

取組の概要 場所：鈴蘭小学校 放送室

【ねらい】

朝の校内放送を通して、人と人とのつながりを大切に、互いを思いやる気持ちを育て、いじめを許さない学校を目指す。

【概要】

児童会書記局が中心となり、「みんなが楽しい学校生活を送れるようにしよう」の目標の下、朝の校内放送に取り組んだ。低学年が楽しめるよう友達と仲よくする大切さについての絵本の読み聞かせや、いじめにつながる言葉遣いや態度等、友だちとの接し方について考えさせる放送を行った。

【児童の感想】

登校してきたみんなの気持ちが明るくなるような放送内容を心掛けた。友達との関わりや、つながりについて考えるきっかけになったと思う。



【朝の校内放送の様子】

成 果

低学年にも分かりやすいよう、絵本の読み聞かせをするなど工夫して友達との関わり大切さを伝えることができた。この活動をきっかけに互いを思いやる、認め合う心を育て、いじめ根絶に対する意識の高まりが図られた。

取組の名称 「全校クリーン作戦」の取組

12月22日(木) 3校時

取組の概要 場所：士幌小学校校舎内

【ねらい】

全校児童の縦割り班による清掃活動を行うことを通し、他者と力を合わせて目標を達成する喜びを味わわせることにより、協力し合う心を育て、いじめのない学校風土の醸成を図る。

【概要】

各縦割り班によるクリーン作戦を企画し、それぞれの班が学校内の担当場所を清掃した。

児童が清掃場所や清掃の手順を決め、普段は顔を合わせない仲間と楽しく作業することを心掛けて活動した。

【児童の感想】

異学年での活動ができるようになったことで、楽しい活動になったとともに、上級生と下級生のつながりができてよかった。



【図書室清掃の様子】



【トイレ清掃の様子】

成 果

児童が主体的に活動することにより、自信をもち、学校は楽しいところであるという気持ちが一層大きくなった。また、上級生が下級生を手伝う様子が見られ、相手を思いやる心や、協力し合う心の育成が図られた。

取組の名称 児童会主体の「希望の木」の取組

通年

取組の概要 場所：中士幌小学校 1階廊下

【ねらい】

児童一人一人が、自分や他者のよいところを見付け、それを表出することで、自己肯定感や、他者を思いやる心を育成し、いじめのない学校風土の醸成を図る。

【概要】

児童会が中心となり、自分や友だちのよい行いがあった時に、それをカードに記入し、「希望の木」に掲示する活動に取り組んだ。「希望の木」は児童全員が通る1階廊下に掲示した。

【児童の感想】

- ・友だちに自分のいいところを褒めてもらえてうれしかった。
- ・自分のよさを更に伸ばそうと思った。



【カードがたくさん貼られた「希望の木」】



【カードに記入する様子】

成 果 積極的に「希望の木」にカードを掲示する児童が増え、自分や友だちのよさを積極的に見付けようとする姿が見られた。また、褒め言葉や励ましの言葉など温かな言葉を聞くことが多くなり、自己肯定感や他者を思いやる心の育成が図られた。

取組の名称 児童会主体の「えがおプロジェクト」

通年

取組の概要 場所：上居辺小学校玄関ホール

【ねらい】

自分が目標を達成したり他者と協働したりして笑顔になった経験を振り返り、自身の成長や助け合うことのよさを自覚化することで、自己肯定感や他者を大切にすることの育成を図る。

【概要】

児童会三役が中心となり、「笑顔になった出来事」を全校児童がカードに書いて掲示する取組を実施した。

通年で取り組み、自身の笑顔の写真とともに掲示することで、自覚化を促した。

【児童の感想】

難しいことにチャレンジすることで、自分が成長することに気付くことができた。また、友達との関わりで自分が笑顔になることが分かった。



【全校児童の掲示】



【「えがおプロジェクト」の掲示】

成 果 児童対象の学校アンケートでは、「自分のよさや友だちのよさを大切にしている」と回答した児童が増加するなど、自己肯定感や他者を尊重する心の育成が図られ、いじめについて未然防止の視点を育むことができた。

取組の名称 「ぴっかぴか週間」、「全校集会」の取組

通年 清掃時間 集会活動

取組の概要 場所：各清掃場所、体育館等

【ねらい】

異学年交流を通して、認め合い、助け合う意識を高め、望ましい人間関係を構築することにより、いじめを未然に防ぐ風土を醸成する。

【概要】

毎月最終週、全学年を25のグループに分け、高学年をリーダーに清掃活動を実施したり、2か月に1回、児童会主催の全校集会において、縦割り班で遊ぶ活動を実施したりし、異学年による交流の機会を創出した。

【児童の感想】

清掃活動や集会活動を通して、異学年の友だちができ、休み時間に一緒に遊んだり、困っていたら声を掛けて助け合ったりすることができた。



【ぴっかぴか週間の様子】



【縦割り班での全校集会の様子】

成 果 異学年での活動に取り組むことにより、学年の垣根を越えて遊んだり、助け合ったりする姿が見られるようになり、児童同士の温かい雰囲気やいじめを生まない風土の醸成につながった。

取組の名称 児童会主体の異学年同士の絆を深める取組

9月22日(木) 2～3校時

取組の概要 場所：鹿追小学校 第4～6学年教室

【ねらい】

高学年が、低学年に楽しんでもらうための遊び集会を開き、異学年交流を通して、居場所づくりや絆づくりを推進するとともに、いじめを未然に防ぐ学校風土を醸成する。

【概要】

児童会事務局が中心となり、第4～6学年が第1～3学年を楽しませる「鹿小祭り」を開催し、グループ毎に店の内容を考え、準備や運営を行った。

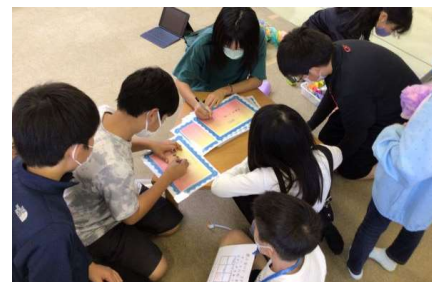
当日、第1～3学年は、自由に店で遊び、友だちや上級生と触れ合った。

【児童の感想】

下級生が笑顔で何度も遊びに来たことが嬉しかった。一生懸命準備に取り組む中で、友だち同士の絆が深まった。



【釣りのお店の様子】



【異学年が触れあう様子】

成 果 高学年から、低学年を楽しませる中に喜びを見出すことができたという声が多く上がり、達成感を味わわせるとともに、児童同士の絆を深め、相手を思いやる心を養うことにより、いじめを未然に防ぐ風土を醸成することができた。

鹿追町立瓜幕小学校

校長名 長 澤 啓 二 全校児童数42名

取組の名称 全校児童でいじめについて考える取組

9月6日（火）全校朝会

取組の概要 場所：瓜幕小学校体育館

【ねらい】

いじめ問題について児童が主体的に考える機会を設定することにより、思いやりの心や、いじめは絶対許さない態度の育成を図る。

【概要】

8月17日～8月31日を校内いじめ防止週間とし、各学級でいじめ防止の方策について話し合った。

さらに、9月6日の全校朝会において、各学級で話し合った方策を発表し、全校児童で意識を高めた。

【児童の感想】

人を傷つけていい権利はどこにもなく、いじめは絶対してはいけないと思った。嫌なことをされた時は、やめととはっきり言おうと思う。



【全校朝会での意見交流の様子】



【低学年の発表の様子】

成 果 全校児童が意見を交流することにより、相手のことを考えて行動することの大切さについて理解を深めるとともに、学校全体でいじめ根絶の意識を高めることができた。

鹿追町立通明小学校

校長名 小野田 年 克 全校児童数19名

取組の名称 児童会中心に行うつながりを深める取組

通年

取組の概要 場所：通明小学校

【ねらい】

いじめ未然防止のために、児童が自分たちでできることを考え、全校児童で取り組む活動を通して、つながりを深める集団づくりを目指す。

【概要】

児童会三役が中心となり、全校遊びを行ったり、幼保小連携による園児と絵本を通して交流する活動を行ったりした。

また、縦割り班による「あいさつ運動」、朝の放送等を行うなど、多様な他者と協働し、つながりを深めた。

【児童の感想】

上の学年の子から、分からないことを優しく教えてもらえて嬉しかった。またみんなで取り組みたい。



【異学年による話合いの様子】



【園児と絵本による交流の様子】

成 果 人とのつながりを意識した活動を通して、児童の自己肯定感や自己有用感を高めるとともに、相手を思いやりながら活動する姿が見られるなど、他者理解の重要性について理解を深めることができ、いじめの未然防止につながった。